

「京都大学低温物質科学」への投稿のお誘い並びに原稿の作成要領
Call for Manuscripts for
"Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)"

米澤 進吾^{1,3}, 佐々木 豊^{2,3}, 加藤 大地^{1,3}, 北川 俊作^{2,3}, 中野 義明^{2,3}

¹ 京都大学 大学院工学研究科, ² 京都大学 大学院理学研究科,

³ 京都大学 環境安全保健機構 低温物質管理部門 京都大学低温物質科学 編集委員会

Shingo Yonezawa^{1,3}, Yutaka Sasaki^{2,3}, Daichi Kato^{1,3}, Shunsaku Kitagawa^{2,3},
Yoshiaki Nakano^{2,3}

¹ Graduate School of Engineering, Kyoto University,

² Graduate School of Science, Kyoto University,

³ Editorial Board of "Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)",
Low Temperature and Material Sciences Division,
Agency for Health, Safety and Environment, Kyoto University

アブストラクトは英語で数行作成してください。Write an abstract of several lines in English.

1. はじめに

「京都大学低温物質科学（通称：LTM 誌，英文名：Low Temperature and Materials Sciences (Kyoto University)）」では，環境安全保健機構が提供する寒剤・共通機器の利用者の皆様や関係者の皆様より「研究ノート」，「技術ノート」，「サロン」への投稿を歓迎いたします。投稿されました原稿は，編集委員会で審議のうえ掲載の可否を決定いたします。なお，編集委員会からの原稿依頼も行いますので，依頼させていただいた際にはよろしくお願い申し上げます。

なお，本誌に掲載された記事は，原則全文が低温物質管理部門のウェブページ (<https://www.ltm.kyoto-u.ac.jp/centershi/index.html>) と京都大学学術情報レポジトリ (KURENAI) にて Web 公開されますので，ご了承ください。後者では DOI も付与されますので，研究成果としてご活用いただけます。

投稿にあたっては，以下第2章を御参照のうえ，MS-Wordを用いて原稿作成してください。初校刷りは電子ファイルより作成いたしますので，フォーマットを守っていただくようによりしくお願いいたします。

完成した原稿は，docx または doc 形式の電子ファイルで，担当編集者宛もしくは編集委員会 (LTM_editors@sk.kuce.kyoto-u.ac.jp) にお送りください。また，pdf ファイルも併せてお送りください。

2. 原稿の作成要領

A4 用紙（レターサイズではありません）の上下左右に 25 mm ずつマージンをとって，和文表題，英文表題，和文著者・所属，英文著者・所属，アブストラクト（英文），本文，参考文献，著者写真（35 mm（幅）× 40 mm（高さ）），著者略歴の順に記述してください。1 ページ目は，

必ず上から 5 cm 程度余白を空けて表題を書いてください。本文 1 行あたり全角 45 文字程度、1 ページあたり 40 行程度を基準にしてください。漢字・かな・カナには MS 明朝、英字・数字には必ず Times New Roman、本文中の見出しには MS ゴシック（またはこれらに準じる書体）を使用してください。強調のためのボールドの使用は避けてください。表題は 14 point、著者・所属は 12 point、本文は 10.5 point、図・表のキャプションは 10 point の文字を用いてください。本文中、物理記号を表す記号は斜体（イタリック）、単位記号は立体（ローマン）で表記し、物理量と単位の間や数字と記号の間には半角スペースを 1 個入れてください。また、章の間には空の行を 1 行設けてください。句読点は「. , 」に統一してください。

図は高解像度のものを本文中に貼り付けてください。カラー印刷が可能ですので、できるだけカラーの図を使用してください。アクセプト後、印刷用に高解像度の画像ファイルを、Word ファイルとは分けて提出していただくことを推奨しております。

論文等の図を用いる場合は、引用情報を付すとともに、その掲載誌等の利用規約に則って用い、必要であれば著者ご自身の責任で使用の許諾をお取りください。ご自身の論文の図を用いる際でも、掲載誌からの許諾が必要な場合がありますのでご注意ください。

その他の細部については、本稿ならびに下記 Ref. [1] などのスタイルを参考にしてください。

参 考 文 献

下の例のように、[引用番号] 著者名, 雑誌名, 巻数, 最初のページ番号, 年の順でお願いします。

[1] 米澤進吾, 京都大学低温物質科学, **30**, 10 (2017).

[2] J. G. Bednorz and K. A. Muller, Z. Phys. B **64**, 189 (1986).

著者略歴

こちらに顔写真を
貼り付けてください
35 x 40 mm 程度
(この枠は最終的に
削除してください)

米澤 進吾 (YONEZAWA Shingo)
京都大学大学院工学研究科 電子工学専攻 教授

2008 年 3 月 京都大学 博士 (理学) 取得
2008 年 4 月 京都大学大学院理学研究科 研究員
2008 年 7 月 京都大学大学院理学研究科 助教
2019 年 2 月 同准教授
2023 年 4 月より現職

(複数の著者がいらっしゃる場合は全員分をお願いします)